

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 25 年 4 月 25 日 (2013.4.25)

【公開番号】特開 2011-212138 (P2011-212138A)
 【公開日】平成 23 年 10 月 27 日 (2011.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-043
 【出願番号】特願 2010-81802 (P2010-81802)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 3 月 11 日 (2013.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技に関わる所定の遊技演出を実行することが可能な遊技機において、
所定の遊技部材を所定の態様で動かすことが可能な作動装置と、
所定の検出領域に遊技者の身体の一部が進入したことを検出して遊技者からの入力として受け付けることが可能な動作検出手段と、
前記作動装置によって前記遊技部材を動かすことで前記遊技演出を実行することが可能な遊技演出実行手段と、を備え、
前記動作検出手段の検出領域は、前記遊技部材に対応するよう設定されてなり、
前記遊技演出実行手段は、前記動作検出手段が入力を受け付けたことに基づき前記遊技演出を実行可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記遊技者からの入力を促進するための促進演出を実行することが可能な促進演出実行手段を備え、
前記促進演出実行手段は、前記遊技部材を示す画像を表示装置に表示することで前記促進演出を実行することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、遊技に関わる所定の遊技演出を実行することが可能な遊技機に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

ところで、特許文献 1 に記載された遊技機では、有効期間中の操作部の操作に基づいて、図柄表示装置で表示演出を行うようになっている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

しかしながら、操作部の操作に基づいて表示演出を行う程度では、遊技者を積極的に遊技に参加させることができるとは言い難いものであった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上記した問題点に鑑みてなされたものであり、遊技者を積極的に遊技に参加させ、遊技の興趣を向上させることが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の一形態によれば、遊技に関わる所定の遊技演出を実行することが可能な遊技機において、所定の遊技部材（例えば、演出ボタン）を所定の態様で動かす（例えば、振動させる）ことが可能な作動装置（例えば、パイプレータ）と、所定の検出領域に遊技者の身体の一部が進入したことを検出して遊技者からの入力として受け付けることが可能な動作検出手段（赤外線センサ）と、前記作動装置によって前記遊技部材を動かすことで前記遊技演出を実行することが可能な遊技演出実行手段と、を備え、前記動作検出手段の検出領域は、前記遊技部材に対応するよう設定されてなり、前記遊技演出実行手段は、前記動作検出手段が入力を受け付けたことに基づき前記遊技演出を実行可能である。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の代表的な一形態によれば、遊技者を積極的に遊技に参加させることができ、遊技の興趣を向上させることが可能となる。